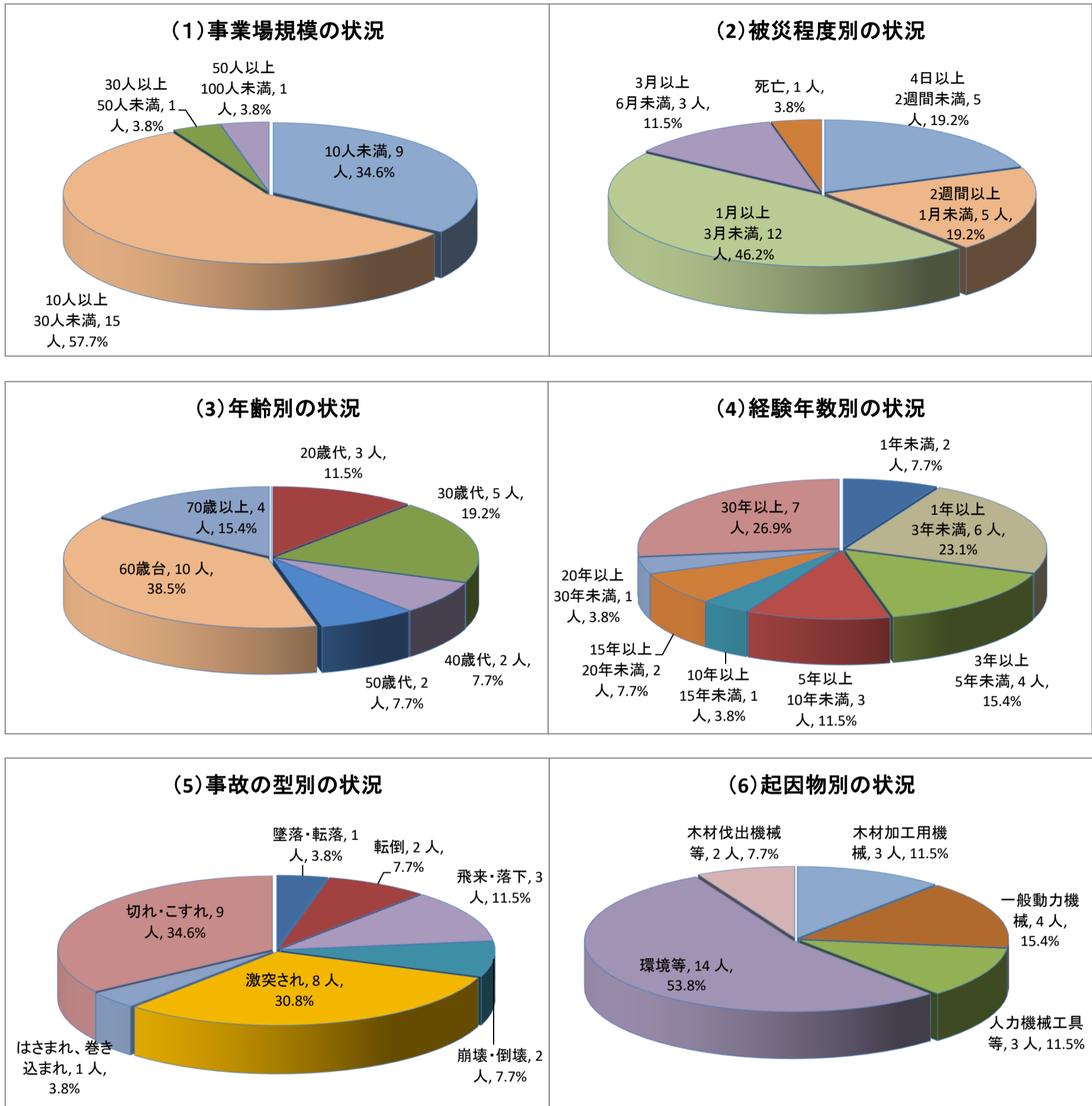


16.林業における労働災害発生状況(令和元年)

(林業:26人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」の事業場が57.7%と最も多く、次いで「10人未満」が34.6%となっている。
2. 被災程度別では、「休業1月以上3月未満」が46.2%で最も多く、次いで「休業4日以上2週間未満」、「2週間以上1月未満」がそれぞれ19.2%となっている。全体の61.5%が休業日数1月以上の災害となっている。
3. 年齢別では、60歳代が38.5%と最も多く、次いで30歳代が19.2%、70歳以上15.4%と続いている。60歳以上で53.9%を占める。
4. 経験年数別では、「30年以上」が26.9%と最も多く、「1年以上3年未満」23.1%、「3年以上5年未満」15.4%の順となっている。
5. 事故の型別では、「切れ・こすれ」34.6%と最も多く、次いで「激突され」が30.8%、「飛来・落下」11.5%の順になっている。
6. 起因物別では、「環境等」(立木、地山等)が53.8%と最も多く、次いで「一般動力機械」15.4%となっている。